

案 内

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みはできません。携帯電話・スマートフォンは必ず電源を切るかマナーモードにして下さい。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」「祝祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

「キリスト教活動のしおり」をご覧ください

宗教センターのホームページから「キリスト教活動のしおり」を見ることができます。

<https://www.aoyamagakuin.jp/outline/christ/relation.html>

QRコード▶



「聖書とキリスト教文化に親しむ会」参加者募集中です

聖書を学んでみたい方、キリスト教と他の思想、文学、時事問題等とのかかわりに興味のある方、宗教センター (agcac@aoyamagakuin.jp) までお申し出ください。

集会内容については宗教センターホームページまたはポータルにて紹介します。

★聖書に親しむ会

	キャンパス	担 当 者	タ イ ト ル	日 時
対 面	青山	伊 藤 悟	安心して絶望できるための聖書の言葉	(火) 12:40～13:10
対 面	青山	八 木 隆之	信仰問答を通して読む聖書	(火) 12:40～13:10
対面/オンライン	青山	塩 谷 直也	「よい知らせ」の伝言ゲーム～使徒書を読む	(火) 12:35～13:05
対 面	青山	森 島 豊	そうだ！聖書を読もう！	(水) 12:30～13:20
対 面	青山	シュー土戸 ポール	いのちの言葉：イエスの山上の垂訓と私たち	(金) 12:35～13:10
対 面	青山	高 砂 民 宣	聖書味読	(金) 12:40～13:10
対 面	青山	島 田 由 紀	ルターとともに聖書を読む	(土) 12:30～13:20
対 面	相模原	福 嶋 裕 子	聖書に学ぶ知恵の言葉	(火) 12:30～13:20
対 面	相模原	吉 岡 康 子	聖書の人間模様	(火) 12:30～13:20
対 面	相模原	大 宮 謙	ルカによる福音書をみんなで読む	(木) 12:30～13:20

★キリスト教文化に親しむ会

対 面	青山	シュー土戸 ポール	Contemporary Worship Team	(火) 19:05～19:25
対 面	青山	八 木 隆之	『ナルニア物語』を(英語で)読む会	(水) 12:40～13:10
対 面	青山	山 本 美 紀	賛美歌を創ろう！	(水) 12:30～13:10
対 面	青山	伊 藤 悟	私たちのまわりの「困った」こと	(相談) 12:40～13:10
対 面	青山	茂 牧 人	キリスト教を考える	(木) 12:35～13:15
オンライン	相模原	Stephen Lambacher	The Cross of Christ (John Stott)	(水) 12:30～13:20
オンライン	相模原	David Reedy	何でも話しましょう、聞きましょう	(水) 12:40～13:10
対面/オンライン	相模原	井 口 幹 夫	カフェ・アルファ(Café Alpha)	(金) 12:35～13:15
オンライン	両	山 本 与志春	院長マジラン	(火) 12:30～13:10
オンライン	両	芹 田 敏 夫	科学と信仰について考える	(水) [隔週] 12:30～13:10
オンライン	両	村 上 広 史	聖書が教える「罪」って何だろう？	(木) 21:00～22:00

宗教センター問合せメールアドレス：agcac@aoyamagakuin.jp

青山学院大学礼拝週報

2022.10.17.

神の国節第19週

No.22

チャペル・ウィーク

教会史の人々 [6]

「ジャン・カルヴァン」

Jean Calvin (1509-1564)

カルヴァンはルターに並ぶ宗教改革者であり、その改革をヨーロッパで確立した人物です。フランスに生まれ最初は法学を学びましたが、後に神学者となり、体系的な『キリスト教綱要』という大部な書物を



キング・ジェームズ版英語聖書復刻版(宗教センター蔵)

著しました。それは現在においてもプロテスタント神学の原点とされています。

カルヴァンはスイスのジュネーブにおいて精力的な活動を展開しました。教会の「規律」を重んじ、模範的な信徒(長老)を中心とした長老主義の源流をつくりあげます。また、「信仰問答」(カテキズム)による信徒教育に力をいれました。

カルヴァンの神学の一つの大きな特徴は「予定」に関する教えです。それは救いが人間の側に根拠をもつものではなく、徹底して神の愛と恵みによるという「神の絶対的主権」の告白でした。「予定」論は人間の救いに確かさを与え、その結果としてキリスト者を生き生きとした社会生活へと押し出す力となっていきました。

今年度の主題聖句

喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。

(ローマの信徒への手紙 第12章15節)

今週の聖句

「主の正義の御業を考えてみよ。」(ミカ書 第6章5節)

解説:直訳すれば「主の義を知れ」です。聖書で「知る」という言葉は体験と繋がります。頭よりも体で知なのです。かつてイスラエルの人々はエジプトで奴隷でしたが、神の愛に溢れた圧倒的な力によって解放されました。このような神の正義の業を体験すると、人は小さな存在に過ぎない自分に、なんと大きな神の愛が及んでいるかを示されます。そして、公正を行い、慈しみを愛し へりくだって、神と共に歩むこと(8節)へと促されるのです。

青山キャンパス／ガウチャー記念礼拝堂

<チャペル・ウィーク> (月～金・10時25分～11時05分)

10月17日(月)

司式 八木 隆之
奨励 向井 志門
(サクソ奏者)

前奏 奏楽 坂戸 真美
招詞
讃美歌 (茶色) 312(1節)
聖書 エレミヤ 29:11
(旧1215頁)

奨励 『音楽の未来』
祈禱
頌栄 (茶色) 542
祝禱
後奏

10月18日(火)

コンテンポラリー礼拝

聖書 申命記 30:19
(旧314頁)

メッセージ
“CHOOSE LIFE”
MARISA
(ゴスペルシンガー、ディレクター)

司式
シュー土戸 ポール

タ礼拝／短大礼拝堂

(火・18時30分～19時)

タ礼拝

10月18日(火)

コンテンポラリー礼拝

聖書 創世記 1:26
(旧2頁)

メッセージ
「かけがえのない世界」
岩渕 まこと
(シンガーソングライター)

ワーシップ・ディレクター
塩谷 達也

相模原キャンパス／ウェスレー・チャペル

<チャペル・ウィーク> (月～金・10時25分～11時05分)

10月17日(月)

司式 大宮 謙
奨励 龍崎 靖子
(日本盲人キリスト教
伝道協議会会員)

前奏 奏楽 堀井美和子
招詞
讃美歌 (灰色) 470(1節)
聖書 ルカ 19:1～6
(新144頁)

奨励 『生きている聖書・
生きている一言』
祈禱
頌栄 (灰色) 29
祝禱
後奏

10月18日(火)

司式 吉岡 康子
奨励 桃井 和馬
(写真家)

前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌 (灰色) 426(1節)
聖書 マタイ 14:16～21
(新27頁)

奨励 『ウクライナ戦争から考える
～「宗教」は戦争の
原因なのか?～』
祈禱
頌栄 (灰色) 28
祝禱
後奏

10月19日(水)

司会 David Reedy
奨励 Steve Sacks
(サクソ奏者)

前奏 奏楽 堀井美和子
招詞
讃美歌 (灰色) 450(1節)
聖書 ヨハネ 3:16
(新164頁)

奨励 『誰を信じれば
よいのか?』
祈禱
讃美歌 (灰色) 451(1節)
黙禱
後奏

10月19日(水)

司式 森島 豊
奨励 小谷 孝子
(腹話術師)

前奏 奏楽 越川伊豆美
招詞
讃美歌 (茶色) 312(1節)
聖書 マタイ 5:9
(新6頁)

奨励 『あちゃんと語る
『平和と命』』
祈禱
頌栄 (茶色) 539
祝禱
後奏

10月20日(木)

司式 左近 豊
奨励 池田 克彦
(日本道路交通情報センター理事長)

前奏 奏楽 松浦 光子
招詞
讃美歌 (茶色) 312(1節)
聖書 ヨハネ 1:1～5
(新160頁)

奨励 『初めに言があった』
祈禱
頌栄 (茶色) 540
祝禱
後奏

10月21日(金)

司式 高砂 民宣
奨励 森下 辰衛
(三浦綾子記念文学館特別研究員)

前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌 (灰色) 484(1節)
聖書 ヨハネ 12:24
(新188頁)

奨励 『うれしい馬鹿が
奇跡を起こす
～三浦綾子を愛した男』
祈禱
頌栄 (灰色) 27
祝禱
後奏

10月20日(木)

司式 伊藤 悟
奨励 Kira La Clé
(口笛奏者)

前奏 奏楽 作井清雅子
招詞
讃美歌 (灰色) 351(1節)
聖書 マタイ 7:7
(新11頁)

奨励 『神様は
どこにいるのか?』
祈禱
頌栄 (灰色) 24
祝禱
後奏

10月21日(金)

司式 福嶋 裕子
説教 比企 敦子
(日本キリスト教協議会(NCC)
教育部総主事)

前奏 奏楽 鷺 晶子
招詞
讃美歌 (灰色) 419(1節)
聖書 イザヤ 66:2b
(旧1154頁)

説教 『わたしの言葉に
おののく人』
祈禱
頌栄 (灰色) 25
祝禱
後奏

聖書(旧):旧約聖書
聖書(新):新約聖書

讃美歌(灰色):讃美歌21
讃美歌(茶色):讃美歌・讃美歌第二編

説教・奨励者紹介

<青山キャンパス>

むか　い　し　もん
向　井　志　門

クリスチャンホームに生まれ、19歳で洗礼を受ける。世界的オーセンティックFUNK/SOULバンド“OSAKA MONAURAIL”、日本初のサルサバンド“ORQUESTA DEL SOL”のサクソブレイヤー。日本最高峰のJAZZ BIG BAND “Swingin' Devils”をプロデュース。モントリオールJAZZフェスなど海外30カ国300公演を行う。現在、世界初となるバンドカラオケアプリのリリース準備中。単立平和キリスト教会会員。

マ　リ　サ
MARISA

サンタマリア高校（スペイン）卒業。ミュージカル・ダンサーを目指すが交通事故により挫折。1996年ゴスペルと出会い様々なゴスペル・クワイアに参加。2001年より新宿シャローム教会でゴスペル講師、クワイア・ディレクターとして活動開始。2006年から同教会のスタッフとして就任。2012年ソロ活動開始、翌年1stアルバム「I CHOOSE TO LIVE」リリース。国内外多数のコンサートやワークショップ等を精力的に行う。

こ　たに　たか　こ
小　谷　孝　子

1939年広島県呉市生まれ。1945年広島市の祖母の家に引っ越し、国民学校1年生で原子爆弾が落とされ、2.5キロの地点で被爆。2003年、腹話術の師匠で新丸子教会の野田牧師から「平和の語り部」として、人に語るよう指導をいただく。2010年、平和を語る自分のうちに不足を感じクリスマスに受洗。2015年、10人の被爆者とピースボートに乗船し105日で世界23カ国を回って核兵器の脅威と「本当に平和な世界」を作る為の手を取り合って仲良くすることの重要性を伝える。2017年、ICANノーベル平和賞授賞式参加。日本基督教団八千代台教会所属

いけ　だ　かつ　ひこ
池　田　克　彦

1953年神戸市生まれ。京都大学法学部卒業。1976年警察庁入庁し、岩手県警本部長、埼玉県警本部長、警察庁警備局長など歴任。元警視総監。元原子力規制庁長官。現在、日本道路交通情報センター理事長。「説教の事典」（時事通信）、「警視総監のとおき雑学手帳」（幻冬舎文庫）など著作多数。日本基督教団本郷中央教会会員。

もり　した　たつ　え
森　下　辰　衛

山口大学大学院修了。文学修士（フランス文学および日本文学）。福岡女学院大学人間関係学部助教授を経て、現在、三浦綾子記念文学館特別研究員、および三浦綾子読書会代表。著書に『「氷点」解凍』（小学館）などがある。インマヌエル久留米キリスト教会会員、基督兄弟団旭川栄光教会客員会員。

<夕礼拝>

いわ　ぶち
岩　渕　まこと

宮城県立仙台高校中退。ヤマハ音楽教室ギター講師、NHK東北放送FMリクエストアワーDJを経て、日本コロムビアよりシンガーソングライターとしてデビュー。1980年受洗し、ゴスペルシンガーとして小坂忠氏とデュオで活動を開始。1996年よりソロ活動を再開し、個人事務所「MAKOTO BOX」を設立し現在に至る。『東北応援団 LOVE EAST』理事長。「クリスチャンアーティストサポート（CAS）」代表。「クリスチャンカルチャーコネクションズ（CCC）アシアの森」代表。東京基督教大学非常勤講師。現在までに30タイトルを超えるCDを発表。代表曲に『父の涙』『GOD BLESS YOU』著作にエッセイ「気分は各駅停車」がある。単立クリスチャンフェロウシップ風の会会員。

説教・奨励者紹介

<相模原キャンパス>

りゅう　ざき　やす　こ
龍　崎　靖　子

1967年盲学校卒業。1945年福島県に生まれる。1963年クリスマスに受洗。子供の時から強度の弱視で、小学4年生から盲学校に転校。盲学校卒業後、総合病院にマッサージ師として勤務。その後、全盲の夫と結婚。2男1女をさざかり、子育てしながら30年間重度認知症の老人ホームに勤務。6年前に夫を天に送り、現在は盲導犬と暮らしている。市内の小学校や福祉センターなどの依頼にこたえて活動している。日本盲人キリスト教伝道協議会員。日本基督教団八王子栄光教会会員。

もも　い　かず　ま
桃　井　和　馬

1962年生まれ。写真家、ノンフィクション作家。恵泉女学園大学教授（人文学部）。これまで世界140ヵ国を取材し、「紛争」「地球環境」「宗教」などを基軸に「文明論」を展開。講演・講座の他、テレビ・ラジオ、著書多数。日本基督教団経堂緑岡教会会員。

スティーブ　サククス
Steve Sacks

ハーバード大学卒業。ジャズのサククスとフルート奏者、音楽理論学者として、音楽活動を始める。その後20年にわたって、ニューヨークのラテン音楽とジャズシーンで活躍し、40ヶ国以上で演奏。共に演奏や録音したアーティストには、小野リサ、テイト・プエンテ、デューク・エリントン・オーケストラ、森山良子、香港交響楽団などがある。ラテン・ジャズのリーダーバンドMambo Innで全国演奏し、CDを3枚リリースした。3枚のソロCD「First Dream:初夢」「Look To The Sky」「Christmas Presence」を販売中。日本長老教会グレース・シティー・チャーチ東京会員。

キラ　ラ　クレ
Kira La Clé

昭和音楽大学短期大学部ポピュラーヴォーカル科卒業。父の影響で5歳より口笛に目覚め、高校のファミリーコンサートで行った初演奏で反響を得たのを機に本格的に口笛奏者として活動を始める。これまで中国で開かれた「新春口笛音楽会」の出演や、カナダで開かれた「日加友好日本庭園50周年式典」で皇族の前で演奏の機会に恵まれるなど国内外で活動も、コロナ禍で活動制限を受ける中で牧師家系に生まれた自らのルーツに立ち返り、自らの使命に気づく。現在は「人の心に寄り添う音楽を」と幅広い表現活動に勤しんでいる。演奏ジャンルは民謡、讃美歌、クラシック、ジャズなど幅広いジャンルを演奏する。国際口笛コンクールにて連続受賞。日本基督教団南三鷹教会会員。

ひ　き　あつ　こ
比　企　敦　子

立教大学文学部英米文学科卒業。（株）日本航空国際旅客部、東洋英和女学院、フェリス女学院教員を経て、現在、日本キリスト教協議会（NCC）教育部総主事、農村伝道神学校講師、全国キリスト教学校人権教育研究協議会副会長、「マイノリティ宣教センター」運営委員、「宗教者九条の和」世話人、日本基督教団神奈川教区性差別問題特別委員会委員。日本基督教団紅葉坂教会会員。